

特殊詐欺の認知状況(令和3年3月末)

～還付金詐欺の予兆電話が多発!～

1 県内の特殊詐欺の認知状況(令和3年3月末)

- 被害認知件数は**10件**(前年同期比+5件)
- 被害額は**約3,111万円**(前年同期比+約2,443万円)

2 令和3年3月の認知状況

- 被害認知件数は3件(前年同月比+1件)
- 被害額は23万円(前年同月比-254万円)
- 手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺～1件
 - ・ 融資保証金詐欺～1件
 - ・ 還付金詐欺(未遂)～1件

3 県内の特殊詐欺の傾向(令和3年3月中)

もってこいネットワーク通信第11号でお知らせしたとおり、3月中旬以降、県内の個人宅に市役所職員を名乗る者から、「年金の還付金(払戻し)があります。」「振込手続のため、ATMに行ってください。」などという還付金詐欺の予兆電話が連続してかかっています。

公的機関がATMへ行くように指示することは絶対がないので、ATMへ行くよう指示があった場合は詐欺を疑ってください!

～被害防止のポイント～

- 自宅に**迷惑電話防止機能付き電話機**などを設置したり、**在宅時でも留守番電話**に設定するなどして犯人からの電話を遮断する!
- お金のお話が出たら、一旦電話を切り、必ず**家族や警察に相談する!**

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和3年3月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	-	1	1
30～39	-	-	-
40～49	-	-	-
50～59	-	2	2
60～64	1	2	3
65～69	-	1	1
70～79	1	2	3
80～89	-	-	-
90～	-	-	-
合計	2	8	10
うち65歳以上の高齢者	1	3	4

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和3年3月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	8
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	1
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	1
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	10